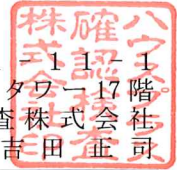


## 接合部性能試験成績証

東京都港区海岸1-1-17階  
ニューピア竹芝ノースタワー  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 吉田 重司



試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
令和元年6月7日

1. 接合金物名称	シナーコーナー 床枠仕様																				
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1																				
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。																				
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。																				
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「シナーコーナー 床枠仕様」 材 質：溶融亜鉛めつき高張力鋼板 以下の強度を満たす炭素鋼*1 引張強さ;590N/mm<sup>2</sup> 降伏点;460N/mm<sup>2</sup> 寸 法：(外形)30mm×42mm×120mm 板厚t=2.3mm 接合具用孔(柱側)4-φ6.8mm(横架材側)2-φ6.8mm 表面処理：Z27(JIS G 3302)相当</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側：「木ねじ TBA-65」4本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ9.3mm 胴部径φ5.5mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4.0mm L=65mm 表面処理：エコート*2WH処理</p> <p>横架材側：「木ねじ TBA-150」2本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ10.8mm 胴部径φ5.5mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4.1mm L=150mm 表面処理：エコート*2WH処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <table><tr><td>柱材：105mm×105mm×700mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：8.0~11.0%</td><td>全乾密度：0.40~0.46g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>横架材：105mm×105mm×1,000mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：9.5~12.5%</td><td>全乾密度：0.40~0.43g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>たて枋材：95mm×640mm 厚さ30mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：10.0~10.5%</td><td>全乾密度：0.40~0.44g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>よこ枋材：95mm×80mm 厚さ30mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：10.5~11.0%</td><td>全乾密度：0.37~0.43g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>床合板：105mm×80mm 厚さ30mm</td><td>構造用合板 特類2級</td></tr><tr><td>含水率：9.0%</td><td>全乾密度：0.41~0.53g/cm<sup>3</sup></td></tr></table> <p>4) その他</p> <p>柱材とたて枋材の接合：鉄丸くぎN75 9本</p> <p>*1 試験ではNFG600(微細粒圧延鋼板(株)中山製鋼所製の定める規格に適合したもの)を使用した *2 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>	柱材：105mm×105mm×700mm	スギ 無等級材	含水率：8.0~11.0%	全乾密度：0.40~0.46g/cm <sup>3</sup>	横架材：105mm×105mm×1,000mm	スギ 無等級材	含水率：9.5~12.5%	全乾密度：0.40~0.43g/cm <sup>3</sup>	たて枋材：95mm×640mm 厚さ30mm	スギ 無等級材	含水率：10.0~10.5%	全乾密度：0.40~0.44g/cm <sup>3</sup>	よこ枋材：95mm×80mm 厚さ30mm	スギ 無等級材	含水率：10.5~11.0%	全乾密度：0.37~0.43g/cm <sup>3</sup>	床合板：105mm×80mm 厚さ30mm	構造用合板 特類2級	含水率：9.0%	全乾密度：0.41~0.53g/cm <sup>3</sup>
柱材：105mm×105mm×700mm	スギ 無等級材																				
含水率：8.0~11.0%	全乾密度：0.40~0.46g/cm <sup>3</sup>																				
横架材：105mm×105mm×1,000mm	スギ 無等級材																				
含水率：9.5~12.5%	全乾密度：0.40~0.43g/cm <sup>3</sup>																				
たて枋材：95mm×640mm 厚さ30mm	スギ 無等級材																				
含水率：10.0~10.5%	全乾密度：0.40~0.44g/cm <sup>3</sup>																				
よこ枋材：95mm×80mm 厚さ30mm	スギ 無等級材																				
含水率：10.5~11.0%	全乾密度：0.37~0.43g/cm <sup>3</sup>																				
床合板：105mm×80mm 厚さ30mm	構造用合板 特類2級																				
含水率：9.0%	全乾密度：0.41~0.53g/cm <sup>3</sup>																				
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定：柱芯より横架材両木口側に400mmの位置で角座金W9.0×80及びM16ボルト・M16ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) また、加力時に試験体の偏心を防止するためのサポート治具を設けた。																				
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>11.0</b> kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)																				
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番																				
9. 試験実施日	令和元年5月28日、29日																				
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 千葉 博																				

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。